

市民意見募集に寄せられた主な意見

内 容	市の考え方
本庁舎と大井総合支所の機能が偏っており、利便性に欠ける。	庁舎が分散していることによる利便性の問題は認識しており、庁舎の統合化は重要な視点と認識しております。庁舎機能の集中と分散などに配慮してまいりたいと思います。
本庁舎と大井総合支所間の往復するバスの運行をお願いしたい。	全市的な交通利便性の向上については、運行形態も含めて現在の利用状況や民間バスの経路や利用状況などを十分検討し、結論を出してまいりたいと考えております。
新庁舎を複合施設として建設した場合、市民負担だけではなく、行政経費人件費の削減を検討し、抜本的削減を実行、努力すべき。	今後も行財政改革推進5か年計画や定員適正化計画などにより、行政経費の削減を進めてまいります。
施設の利用が特定の団体等に限られてしまうので、多くの市民が利用できるよう施設予約の方法を改善してほしい。	施設機能の見直しや多機能化など既存施設の有効利用を図るとともに、インターネットを活用した施設予約などを検討するなど、ソフト面の対策も取り組んでまいります。
利用団体が多く、希望の日時、場所が確保できない。総合福祉センターなども利用できるようにしてもらいたい。	
公民館、集会所の配置状況や管理方法が旧市町でアンバランス。	上福岡地域の集会所と大井地域の公民館分館については、同様の使い方をしていながらもかかわらず、施設の位置づけや管理運営方法などに違いが見られるため、今後、制度の統一化に向け、本計画の中で検討してまいります。
地域住民の子どもから高齢者までが交流できる学童施設と集会施設の融合があってもよいのでは。	施設の再整備にあたっては統廃合や複合化など、財政負担の軽減を念頭においた施設のあり方も併せて研究してまいります。
現施設の資産価値等を計算し、売却を視野に入れバランスシートを作成し、総合的に検討し、市民ヒアリングを経て結論を出すべき。	公共施設適正配置計画の策定後に、個別の公共施設の整備計画について具体的な検討を行う予定です。経費計画については、その段階でお示ししていきたいと考えております。
各公共施設の継続要望や事業内容、施設設備の充実を求める意見	ご意見などを参考にさせていただき、個別施設のあり方について、今後検討してまいります。